

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和3年11月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.46)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



重点単元・教材の授業紹介

広尾小学校で行われた重点単元の授業（10月29日：4年生国語科）を紹介します。単元は「場面の移り変わりと結びつけ、登場人物の変化を読もう」で、子どもたちは、ワークシートに登場人物の「心の距離メーター」をまとめながら交流し、考えを深めていました。広尾小の重点教育目標にある「よく考える」子どもたちの姿が感じられました。



次に、広尾中学校で行われた重点単元の授業（11月12日：2年生社会科）を紹介します。「欧米の進出と日本の開国」という単元の第1時間目で、生徒たちは、これからの学習を進めるための課題を考えました。タブレットを活用したり、生徒同士の交流場面を設定したりと生徒一人一人が主体性をもって学びに向かい、広尾中の重点目標のキーワード「探究心」を育てる指導が感じられました。



【解説】重点単元（教材）は、学校運営協議会で承認された重点教育目標の達成に向けて特に、授業改善と充実を意識して指導に当たるものです。こうした取組の継続が、該当教科はもとより、他の教科の授業とも繋がり、更なる効果が期待されます。

応援メッセージをいただきました

◇コロナウイルスの影響で、お家の人も2人しか出席できない中、学習発表会をがんばったと聞きました。

6年生は、これから発表だそうですね。小学校生活最後の発表、がんばってください。私は見に行けませんが、応援しています。

(町内、40代、男性、10月29日受取)

◇10月だったかな、車で走っていると中学生と高校生が、一緒に街中のゴミ拾いをしているのを見かけました。きれいなまちづくりに、生徒の皆さんが協力してくれていることに、嬉しくなりました。その時に、車から「お疲れ様、ありがとう」と言ってあげればよかったと後悔してます。

それから、高校生が防災訓練で、避難所の運営に参加した話を聞きました。私も含め高齢者が多い町です。こうして、若い世代が町民のために動いてくれる気持ちがあることに感謝です。

ありがとうね、広尾っ子の皆さん。

(町内、60代、男性、11月9日受取)

応援メッセージは、受取り次第すぐに町内各小・中学校及び広尾高校に送付しております。届いたメッセージを授業の中で活用している学校もあります。

この応援メッセージの取組の目指すところは、「子どもたちに自己肯定感をはぐくむとともに、広尾町を町民の温かなまなざしに包まれた、広尾っ子の心の居場所とすること」です。

「応援メッセージ受付中」の掲示

町コミセンのホールに、「応援メッセージ受付中」の掲示をしております。そこには、メッセージ用紙も準備しています。(右の写真)

コミセンに来られた際には、是非、広尾っ子への温かいメッセージをお寄せください。

なお、メッセージは、電話やメールでも受け付けております。

今後も、地域の宝である子どもたちの健やかな成長に向け、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

